

2019年 全6作品 ゲキ×シネ連続上映決定！

ゲキ×シネ 髑髏城の七人 — 花鳥風月^{上弦の月}_{下弦の月} 極 —

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

2017年3月から1年3ヶ月にわたり、花・鳥・風・月(上弦の月/下弦の月)・極(『修羅天魔』)と5シーズン6作品に分けロングラン上演された劇団☆新感線の『髑髏城の七人』。作品ごとに集まった日本を代表する豪華キャストに加え、アジア初の360°回転シアター「IHI ステージアラウンド東京」のこけら落とし公演として上演された事でも話題を集め、全6作品累計55万人を動員した人気舞台が、演劇の映像を映画館で楽しむ《ゲキ×シネ》の最新作としてついに登場！



(C)TBS/ヴァレッチ

記念すべき第一弾は、2019年3月8日(金)より、全国14館にて『髑髏城の七人』Season花の上映がスタート！以後、鳥・風・月(上弦の月/下弦の月)・極(『修羅天魔』)を、年間を通じて順次上映予定。

今回上映される『髑髏城の七人』の《ゲキ×シネ》版では作品ごとに映像版の監督を擁立、映像はスクリーン向けに新たに編集、音声も劇場向けにリミックスされています。すでに実施されたライブビューイングやCS放送とは一味違う、洗練されたクオリティと臨場感溢れる映像を、映画館の大スクリーン&高音質で体感することができます。

今年39周年を迎える劇団☆新感線。その活躍をぜひ全国の映画館でもお楽しみください！

またゲキ×シネ上映に併せて、『髑髏城の七人』花鳥風月極のパッケージBOXも年内発売が決定！パッケージの詳細は決定次第、公式サイトなどでお知らせいたします。ゲキ×シネ、パッケージとますます広がる「ドクロワールド」をどうぞお楽しみに！ 敬白

ゲキ×シネ『髑髏城の七人』Season花

作：中島かずき 演出：いのうえひでのり

出演：小栗旬 / 山本耕史 / 成河 / りょう 青木崇高 清野菜名 / 近藤芳正 / 古田新太 他

【日 時】2019年3月8日(金)より順次スタート※上映館により公開日が異なります。《鳥》以降の上映スケジュールは順次発表。

【会 場】新宿バルト9 他、全国14館 ※館数は変更になる場合があります。最新の上映館情報は公式サイトをご参照下さい。

【チケット】各上映館にて発売 価格：¥2,000(税込) ※特別興行料金につき、各種割引、招待券や無料鑑賞券等は適用不可。

【WEB】<http://www.geki-cine.jp/d7-6title/>

【配 給】ヴァレッチ/ティ・ジョイ 【著 作】TBS/ヴァレッチ

■ゲキ×シネ 花鳥風月極 上映スケジュールに関して

新宿バルト9 他にて、3月8日(金)よりSeason花の上映をスタート、その後2019年の年間を通じて、各上映館ごとに花鳥風月極の順番での公開を予定。各上映館ごとの上映スケジュールは決定次第公式サイトなどで告知予定です。

《本件に関するお問合せ》 作品に関するお問い合わせ：(株)ヴァレッチ 糸永・長谷川 TEL：03-5361-3031 FAX：03-5361-3032
 上映に関するお問い合わせ：(株)ティ・ジョイ エンタテインメント事業部：小川 TEL. 03-3248-8174 FAX. 03-3248-8176

■劇団☆新感線の代表作の一つ《髑髏城の七人》

今年 39 周年を迎える劇団☆新感線の代表作にして最高傑作と呼び声も高い作品。1990 年の初演以来、7 年ごとに上演するたびに進化を遂げている。“花・鳥・風・月(上弦の月/下弦の月)・極(修羅天魔)”はキャスト、脚本、演出を総入れ替えしながら 2017 年 3 月から 1 年 3 ヶ月にわたりロングランにて上演を続けるという、演劇界において前代未聞の企画として注目を集めた。

■『髑髏城の七人』 Season 花 物語

時は天正十八年(1590)。織田信長が死に、豊臣秀吉が天下を治めていたこの頃、都から遠く離れた関東の村々はく天魔王(成河)率いる関東髑髏党に荒らされていた。

この日も、とある村が髑髏党の鉄機兵たちに襲われていたところに傷だらけのく沙霧(清野菜名)が飛び込んでくる。彼女は、天魔王らの居城・髑髏城の抜け道が記された絵図面を持っていたために追われていたのだ。と、そこに派手な身なりの傾奇者たち・関八州荒武者隊の面々が登場する。先頭に立つのは、頭目のく兵庫(青木崇高)だ。しかし仲間のく三五(河野まさと)の裏切りにより、みるみるうちに窮地に陥る荒武者隊。そこへフアリと現れた着流し姿の男が、手にした大きな鉄煙管で鉄機兵を叩きのめす。男は自らをく捨之介(小栗旬)と名乗り、沙霧に傷の手当てをさせるため、兵庫と共に関東一の色里“無界の里”へと向かう。色里“無界”は宿場も兼ねているため人の出入りも賑やかで、その中には何か事情を隠しているような怪しげな牢人く狸穴二郎衛門(近藤芳正)らの姿もある。この色里一と評判のく極楽太夫(りょう)は、「沙霧をかかまってほしい」という兵庫らの頼みを快く引き受けてくれた。

その夜。店の裏で再び沙霧は髑髏党に襲われそうになるが、捨之介と“無界の里”の主く蘭兵衛(山本耕史)がそれを阻む。そこに突然現れる、天魔王。実は捨之介と蘭兵衛と天魔王の三人は、ある時期、共に時間を過ごした間柄だったのだ。南蛮製の鎧と仮面を装着した天魔王には、捨之介の刀も蘭兵衛の短筒も歯が立たない。しかしこの場合は、狸穴二郎衛門が間に割って入ったことで難を逃れられた。

天魔王、そして髑髏党との戦いを覚悟した捨之介は山奥にこもる刀鍛冶く鷹鉄斎(古田新太)を訪ねて、無敵の鎧を叩き斬る刀、必殺の“斬鎧剣”を打ってほしいと頼み込む。

しかしその頃、蘭兵衛は単身で髑髏城へ行くこうとしていた。それに気づき、こっそりと後を追う沙霧。

捨之介、蘭兵衛、天魔王が抱える深い縁(えにし)とは……。

天魔王の謀略を、捨之介たちは阻止することができるのか……。

■『髑髏城の七人』花鳥風月極 主な出演者

◎《花》 小栗旬 / 山本耕史 / 成河 / りょう 青木崇高 清野菜名 / 近藤芳正 / 古田新太 他

◎《鳥》 阿部サダヲ 森山未來 早乙女太一 / 松雪泰子 / 栗根まこと 福田転球 少路勇介 清水葉月 / 梶原善 / 池田成志 他

◎《風》 松山ケンイチ 向井理 田中麗奈 / 橋本じゅん 山内圭哉 岸井ゆきの / 生瀬勝久 他

◎《月/上弦の月》 福士蒼汰 早乙女太一 三浦翔平 須賀健太 平間壮一 / 高田聖子 / 渡辺いっけい 他

◎《月/下弦の月》 宮野真守 鈴木拓樹 廣瀬智紀 木村了 松岡廣大 / 羽野晶紀 / 千葉哲也 他

◎《極(修羅天魔)》 天海祐希 / 福士誠治 竜星涼 清水くるみ / 三宅弘城 山本亨 梶原善 / 古田新太 他

■ゲキ×シネとは GEKI×CINE

劇団☆新感線の話作を、映画館の大スクリーンにて高画質・高音質で楽しむ映像エンターテインメント。マルチカムで 20 台を超えるカメラにより撮影されたカットを駆使した迫力の映像、そして劇場用にリミックスされた音声は、見る人を惹きつけ、一般的に抱かれる劇場中継のイメージとは大きくかけ離れた、まったく新たな映像体験を体感いただけます。2004 年に第一弾として『髑髏城の七人〜アカドクロ』が上映されて以来、現在まで 15 作品を上映。詳細はゲキ×シネ公式サイトへ。

ゲキ×シネ公式サイト : <http://www.geki-cine.jp/>